

第3回日露投資フォーラム全体会合 齋藤大使御挨拶

日時: 9月4日(木) 15:30頃

(日露同時通訳、7分間)

御臨席の皆様、ただいま御紹介頂きました駐ロシア日本国大使の齋藤です。第3回日露投資フォーラムの開催に当たり、一言御挨拶申し上げます。

一昨年、まさにこの場所で、初の日露投資フォーラムが開催され、日露双方の政府、ビジネス界からたくさんの方々が集い、経済関係の発展に向けた有意義な意見交換が行われました。私もその記念すべき第1回フォーラムに参加させていただき、その時に感じた両国関係者の熱意を大変懐かしく思い出します。

これまですべての会合に参加させて頂きましたが、着実に開催の実績を重ねる運びとなったことを大変喜ばしく思うとともに、改めまして、主催者である経済産業省及び経済発展省の強力なリーダーシップ、そしてサンクトペテルブルク市政府やフォーラム事務局を含めました関係者の方々の御尽力、さらに本フォーラムに御参加の皆様への期待と熱意に対し、敬意を表します。

近年の日露関係は、2003年に小泉総理とプーチン大統領との間で採択された「日露行動計画」に沿って、幅広い分野で拡大・発展しています。

政治面では、4月及び7月の二度の日露首脳会談が行われました。本年後半も高いレベルで政治対話を継続することについて合意しています。

領土問題については、両首脳は、戦略的に重要な隣国である両国間に平和条約が存在しないことは、幅広い分野における日露関係の進展にとり支障になっているとの認識で一致し、この共通認識に従い、双方に受け入れ可能な解決策を見出すべく、首脳レベルを含む交渉を誠実に行っていくことで一致しました。

経済面では、両国首脳間において、エネルギー、原子力、運輸、気候変動、極東・東シベリア等幅広い分野での協力を引き続き進展させることで一致しています。

特に、極東・東シベリアにおける協力については、同地域の発展とアジア太平洋地域への統合に対するロシア政府の真剣な姿勢を踏まえ、同地域の開発に向け日露間で協力を進めていくことが首脳レベルで合意されており、本件協力の具体化のために次官級の政府間委員会地域間交流分科会を開催することで一致しています。

こうした政府の取組が、ビジネス界の活動のための環境を整え、潤滑剤となり、新たな貿易や投資の拡大につながることを期待しています。

日露間の経済関係の実態に目を向ければ、急速な発展が続いています。一昨年の第1回フォーラムにおいて、私から2005年の貿易高が100億ドルの大台に載ったと紹介したことを良く覚えています。2年後の2007年の値は2倍強、213億ドルとなりました。ここに御列席のビジネス界の皆様も、ロシアの高い経済成長力を背景に、益々経済関係が大きく発展することを期待されていると思います。

本フォーラムの全体会合・分科会を通して、いろいろな産業分野での成功例の紹介とともに、経済特区や官民パートナーシップ等ロシア政府の各種政策の説明や、今後の発展可能性に関する意見交換が行われることでしょう。制度上の問題点や反省点も含め、具体的な事例に基づき、経済分野における協力の現状と将来に関する実効的な議論がなされることを期待します。

さて、今回の投資フォーラムについては、さらに「ロシアの地域開発と日露協力の地理的拡大」というテーマに注目したいと思います。私自身、駐露大使として過ごした2年数ヶ月の間に、可能な限りロシアの地方に足を運び、地方政府や地元企業の方々と接してきました。そして、ロシアの地方の目覚ましい成長の勢いを目の当たりにするとともに、日本との経済関係構築に対する期待が、欧露部の大商業都市は勿論、シベリアや極東を含めた地方政府でも大変大きいものであると知ることができました。

ここサンクトペテルブルクは、日本の大手自動車メーカーの工場進出が相次ぎ、日露の投資協力の象徴ともいべき土地です。その背景には、各企業の努力に加え、マトヴィエンコ知事を初めとしたサンクトペテルブルク市政府関係者の多大な支援がありました。それはまた、我が国とロシアの地方の協力の成功例として大きな意義を持つものでした。

最近では、建設機械メーカーや自動車部品メーカーなどが、より多くの地方都市において、地方政府の支援を含めた立地条件を踏まえながら、工場進出を果たすようになってきました。また、日本の地方自治体の交流も始まり、種々の地方ミッションの往来が実現しています。

既に、ロシアへの日本企業の進出は、伝統的な商社やメーカーの活動に加え、流通業、金融業など幅広い業種に展開しています。次の課題は、更なる地理的拡大を進めることにより、協力関係の裾野を広げることではないかと考えています。

そうした観点から、今回のフォーラムが「地理的拡大」という大変重要なメッセージを掲げていることは誠に時宜を得たものであり、両国にとって必ずや新しいステップになるものと確信しています。

私から多くの期待を込めて述べさせていただきましたが、本フォーラムの開催のみによって、必ずしも取り組みのすべてが解決し、順調に運ぶとは限りません。ビジネスを進める上では今後とも様々な問題点が指摘されることがあるでしょう。日本政府としては、今後ともロシア政府と協力しつつ、日露間のビジネスが益々活性化していくよう、企業の活動を支援して参る所存です。また、ロシア政府に対しても、両国の経済関係の発展のために、是非ともこうした諸問題の解決に向け、引き続き積極的な取り組みをお願いしたいと思います。

本日も、日露両国における官・民のそうそうたる顔ぶれの皆様が集まることができました。本フォーラムにおける皆様のプレゼンテーションや意見交換を通じて、貿易・投資の更なる拡大を可能とする有意義な成果が得られることを祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。御静聴ありがとうございました。

(了)